

ほうりん

2019. **7**
July

特集!!

お盆って
何するの？

管原 然

今回の内容は

- ◆ 若院よりご挨拶
- ◆ 行事報告
- ◆ 妙善寺非僧非僧 (ひそひそ) 話
- ◆ 今後のお知らせ
- ◆ 各種お知らせ

vol, **2**

ご挨拶



妙善寺若院
菅原賢史

妙善寺ご門徒の皆様、有縁の皆様、日頃より妙善寺の護持にご協力いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。何とか三日坊主に終わらず、寺報第2号の発刊となりました。寺報に関してうれしい反応を各所よりいただいております。何よりの励みとなりますので、今後ともあたたかく見守っていただけると幸いです。

住職、坊守について

お参りにうかがった際などにもよくお尋ねやご心配のお言葉をいただきますので、この場をお借りしてご報告させていただきます。現在、両親（住職、坊守）は、同じ町内で歩いて近くの距離ではありますが、お寺を離れて別の住まいを借りて二人で暮らしております。お寺のことに関しては私と若坊守とで切り盛りをさせていただきます。

なぜ、そのような状況であるかということですが、ここ一年ほどで、住職、坊守ともに加齢にともない物忘れなどをする機会が増えてきました。特に坊守は、自身のその状態を悔やみ、気分が落ち込むといったことがしばしば起こってありました。「何もしないでお寺にいただけでいいよ」と家族に言われても、責任感からかその状態を受け入れることが難しいようでした。加齢とともに判断力が衰える中で、お寺の業務はいろんなことを同時に処理しなければならない場面が多々ございます。そのような状況下にいることは、本人の負担となりあまりよくないと担当の先生からもご指導いただくところでした。

そこで本人たちと家族とで話し合いを持つ中で、いったんお寺との適度な距離を置き、状態の良いときにお寺に顔を出すというような形での負担軽減を試してみようということになりました。坊守だけひとりで行かせるわけにはいかないので、住職と二人で暮らしております。住職は、その立場から、お寺を離れたい思いを持っておりましたが、長年を共にした坊守ともまた離れがたく、現状を受け入れてくれています。とは言っても、今では結婚して以来、初めての二人暮らしを新婚生活と捉えて、大変満喫しているようです。皆様からもフレスポなどで仲良くお買い物をしている姿などの出没情報をよくお伺いいたします。街中でお会いした際には、どうぞお声をかけてやってください。



そのような現状の中、私ども若夫婦のみでのお寺の運営で至らぬことも多いと存じますが、できうる限り精一杯努めさせていただきますので、ご理解ご協力の程よろしく願いたします。

合掌

妙善寺春季行事報告

春季彼岸会



姫方 戒円寺若院様



酒井 遍照寺住職様



藤木 千福寺若院様



水屋 正行寺若院様



3月18日から20日にかけて行われた春季彼岸会に際しまして、多くのご参詣をいただきありがとうございました。今回は、同じ浄土真宗本願寺派田代組に所属する近隣の若手僧侶の皆様のお話を聞いてみたいとの若院の希望で、日替わりでご講師が変わるお説教のお取次ぎをいただきました。

それぞれの個性あふれる仏様のお話しをお聴聞でき、大変意義深いものであったと思います。また、来年の春季彼岸会も同様の形を検討したいと考えておりますので、ご意見などございましたら、若院までお願いいたします。

花まつり&降誕会



4月8日は、お釈迦様の誕生をお祝いする「花まつり」、5月21日は、親鸞聖人の誕生をお祝いする「降誕会(ごうたんえ)」ということで、それぞれご縁をいただいたご門徒の方々とお祝いをいたしました。花まつりでは今年小学校にご入学の3名のお子と新発意の初参式(はじめてのお寺へのお参り)も行いました。降誕会は、妙善寺仏教婦人会や総代会の皆様にお越しいただき、授産施設「コスモス夢工房」の皆様の太鼓の演技や、参加者の皆様から、手品、カラオケなどご披露いただき賑やかに執り行いました。

特集!!お盆って何するの?

お盆は正式には盂蘭盆会といい、『仏説盂蘭盆(うらぼん)経』というお経が「お盆」の起源になります。その経典に説かれるお話は次のようになります。

お釈迦様のお弟子さんに目連(もくれん)尊者という方がいらっしゃいました。この方のお母さんは我が子を随分とかわいがられました。目連尊者にとっては、この上も無く優しい方であると感じられていました。神通(じんづう)第一といわれた目連尊者は思い通りどこにも行ける力を持っていました。お母さんが亡くなられた後、「あれだけ優しい方だったからきっと素晴らしい世界に居るだろう」と全ての世界を見てみました。すると悲しいことに、お母さんは餓鬼(がき)の世界で苦しんでおられました。



嘆いた目連尊者はお釈迦様に、どのようにしたら、母の苦しみを救うことができるのか、とおたずねになりました。お釈迦さまは「おまえの母親は確かに我が子にはやさしかったかもしれないが、他人に対しては恵むことも施(ほどこ)すこともなかった、その罪のゆえに餓鬼道に落ちたのだ。母に代わりあなたが身の回りの皆さんに施しをなささい」と教えました。目連尊者は、母を救うため出家者が揃い勉強する安居(あんご)の最終日に、全ての僧に施しをすることによって、母親は餓鬼道から救われた。『仏説盂蘭盆経』にはこんな物語が記されてあります。

その、施しをしたとされる日が旧暦の七月十五日にあたり、現在でも暦通りの七月盆を大切にされている地域(佐賀では嬉野など)もありますが、多くの地域では太陽暦にならって八月に、お盆の行事を行っています。

さて、この盂蘭盆経のお話から、私たちが味わわせていただく事は、何でしょうか?

餓鬼の世界はむさぼりの世界、欲の尽きない世界だとお釈迦様はおっしゃられます。母親からいっぱい頂いた愛情もまた愛欲なのです。私に対していっぱい愛を注いでくれた親の姿、私も親になってみて我が子に対する愛の深さを少しづつ気付かせていただいております。やはりほかのいのちとは差をつけてしまいます。身近なところにしか、目を向けられない私たちの慈悲(慈愛)は小悲といいます。対して仏様のお慈悲は大悲といい、すべてのいのちに差をつけず、平等に、必ず救うとお誓いいただきます。

私もよく言ってしまう、その度にいかんいかんと思うのですが、例えば台風が発生して九州に向かってきているとして、進路がどこかにそれれば、「直撃しないで良かったですね」と、言ってしまう。それたらそれたで、そちら側で苦しんでおられる人がいるであろうことを忘れてしまいます。私たちの人間としての欲や願望を満たそうと思えば、だれかが犠牲になることが往々にしてあります。そのことを目連尊者の母親が自らを餓鬼の世界に落としてまで、身をもって教えてくれたのでしよう。

私たちは、身近ないのちからしか大事にすることが難しいもののようです。しかし、身近ないのち、親しみの深いいのちだからこそ、今生で離れる悲しみは計り知れないものであるし、私たちのいのちが如何に尊いかを気付かせていただくのも、また身近ないのちとの別離があるからこそなのです。お盆の機会にあらためて、先立っていかれたいのちを訪ね、私のためにご苦勞頂いたことに、感謝のお念仏を申しませう。そして、お釈迦様がお勧めし、目連尊者が実践されたように、少し視野を広げて私のまわりのいのちに、「おかげさま、おたがいさま」と施しの心を向けられるように、心掛けたいものです。



合掌

特集!!お盆って何するの?

本年のお盆参りについて

冒頭で申した通り、住職の状態を考慮し、本年のお参りについては基本的に若院のみで行います。例年、何時にお参りに来るかはっきりお伝え出来ない中での参りでご迷惑をおかけいたしておりましたが、本年は一層時間がかかることが予想されます。何卒、ご理解ご協力の程、よろしく願いいたします。当日にご予定のあられる方、お寺での法要をご希望の方は、早めのご連絡をお願いいたします。あらかじめ参りの巡番はある程度決めさせていただきますが、留守のところやお休みのところ、急な葬儀等でどうしても時間が前後することがあります。それらの予定を受けて前日夜にお参りの行程を確定いたします。お時間をお知りになりたい方は、お寺までお尋ねいただきますと、おおよその時間はお伝えいたします。

お盆参りのお勤めは、赤い聖典のP76「重誓偈」をお唱えいたします。短いお勤めです。お茶の接待等はお気になさらずに結構でございますので、よろしければ一緒にお参りください。お時間は朝8:00~16:00を目処に伺います。

重誓偈・・・浄土真宗が一番大切にしている経典「仏説無量寿経」にて、ご修行中の阿弥陀様が、我々衆生を救うことができなければ決して仏にならないと重ねて誓われた有り難い一節です。

初盆

(8月13,14日にお参りをさせていただく場合)

初盆のお勤めは、以下のような流れになります。

○三奉請(さんぶじょう)

(阿弥陀様、お釈迦様、諸仏にご挨拶)

○表白(ひょうびやく)

(初盆のお勤めをさせていただきご報告)

○讚仏偈(さんぶつげ) *聖典P53

(皆様にお焼香をしていただきます)

○法話(ひとことお話をいたします)

移動も含めて30分ほどの時間で考えております。長居することができず申し訳ございません。

盆法要

お寺での盆法要は以下の日程で行います。ご自宅のご仏壇より過去帳、もしくはお位牌をお持ちのうえ、ご参詣ください。例年、15日の午前中①の時間での参詣が集中し、大変混雑いたします。よろしければ、そのほかのお時間での参詣もご検討ください。

① 8月15日 10:00~10:45

② // 13:00~13:45

③ // 16:00~16:45

④ // 19:00~19:45

⑤ 8月16日 10:00~10:45

盆踊り

お盆は歓喜会ともいい、目連尊者がお浄土に往生する母の姿をよろこび、踊るように歓喜したことによります。このことが盆踊りの由来とも言われます。ご先祖を偲びつつ、皆様で暑さを吹き飛ばし、共に踊りましょう。

日時 8月17日(土) 19:00~21:00

本堂でお勤めの後、納骨堂前で行います。
*雨天時は門徒会館にて開催

空くじなしのお楽しみ抽選会を行います。

また、お子様向けのゲームコーナーもございます。

お食事はございませんので、お気を付けください。



妙善寺 非僧非僧 (ひそひそ) 話

親鸞聖人は自らを非僧非俗(僧にあらず、俗にあらず)とおっしゃいました。私、若院も、僧としての立場、俗人としての立場、どちらに偏りすぎることなく出来る限りバランスよくありたいものだと考えます。そこで、このコーナーでは、妙善寺内の僧侶とは異なる立場の皆さん(若坊守や家政婦さん)からの現場の声や姿をお届けさせていただきます。今回はゴマすり記事のようになってしまいました。ご容赦ください。

登場人物紹介

若坊守・・・菅原理聖(すがはら りさと)
若さと可愛さで妙善寺のアイドル？笑い声がうるさいのも愛嬌？新発意「然」を育てながらなれないお寺の事務作業に奮闘中！

家政婦・・・古村真理(ふるむら まり)
坊守の義理の従姉妹にあたる。ある時は家政婦、またある時は書道の先生として妙善寺を支える。お料理がとっても上手。

新発意・・・菅原 然(すがはら ぜん)
妙善寺の跡取りを期待される待望の子。誰に似たのか愛嬌抜群！現在すくすく成長中。寝返りうてるようになりました！



長女・・・菅原 いちみ(4歳)
若院と若坊守の結婚式の日生まれた不思議なご縁のワンコ。ペキニーズとチワワのミックス犬。得意技は「なむなむ」というと手を合わせ合掌すること。



次女・・・菅原 らーゆ(3歳)
鹿児島生まれのクールビューティなダックスちゃん。変わった名前は若坊守が辛い物が好きだから？



家政婦日記

ある日のこと、若院が嬉しそうに1箱のお線香を持ってきた。「これ、1箱いくらでしょう？」の問いに、やや高めに予想する。実際の値段を聞いてビックリ！私の予想の数倍のお値段。。。思わず1本当たりを計算してしまう。何でも伽羅(きゃら)という香木のみで作られたなかなか手に入りにくい代物だそう。若院はそれを枕経に使いたいと言う。

この日のお線香にしても、法名にしても、時間をかけ、お名前の言葉の意味・由来を文章にご家族にお渡しするようにしている。

住職のやり方を引き継ぎつつも様々なことに心を尽くして法務に向き合っている。

「お育て」とはこういうことだなと、その姿に安堵。



若坊守より

いつも季節ごとの新鮮なお野菜や果物などを、若院に持たせていただいて、ありがとうございます。家族で美味しくいただいております。この場をお借りして皆様にお礼申し上げます。

また、仏事ごとでなくても来やすいお寺になれるよう、お寺でのヨガや書道教室などもやっていますので、お気軽に遊びに来てください！

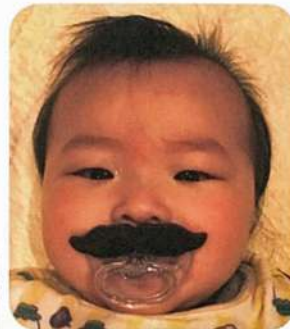


シンボチ「然」の成長期

寺報発刊時の7月で、生後8か月を迎えます。表紙にある通り、5月には初節句を迎え、ご門徒の皆様のご厚意に甘えまして、本堂正面に名前旗と鯉のぼりを揚げさせていただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。寝返りを打ち、歯も生えてきて、離乳食も食べられるようになって、あわただしい中にも日々成長する姿に、親として喜びを実感いたします。私もそうしていただいたように、皆様からの「お育て」が何よりあります。どうぞ、今後とも、あたたかく見守っていただければ幸いです。



よく笑う子です！



お髭を付けてすまし顔



のぼりありがとー！！

妙善寺行事予定

お供え物落雁（らくがん）手作り教室



お仏壇荘厳イメージ

お彼岸を前に、ご自宅のお仏壇に飾るお供物をご自身の手で作ってみませんか。

作り方はとても簡単です。綺麗な色のらくがんを糊付けし、土台に張っていく作業で、1～2時間で終了します。

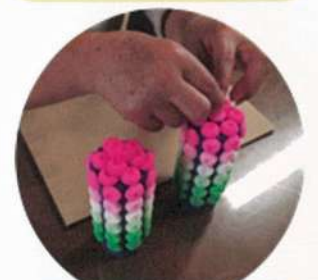
日時 9月9日(月) 13:30～15:30

場所 妙善寺門徒会館

定員 40名 参加費 2,000円



みんなで楽しく作業



心を込めたお供え物



曼珠沙華

まんじゅしゃげ



やぐるま



つゆくさ



さがん

妙善寺オリジナルカラー

*1対(同色2本セット)/サイズ:高さ15cm 直径6cm

参加ご希望の方は、8月26日までに、妙善寺までお知らせください。その際に、町名、お名前、人数、上記より当日作りたい落雁の種類をお伝えください。参加者多数の場合は、先着順にさせていただきます。

○ご講師 神崎組西福寺 片江智晃師

○毎日午後1時半より午後3時40分まで

○24日は午後7時半から午後9時までの
お晩座もあります。

秋のお彼岸は初めてのご縁を頂くご講師をお迎えして、とりおこないます。今回のご講師の片江先生は、長らく妙善寺の秋のお彼岸にお説教に来ていただいていた伊万里の西先生のご息女のお嫁ぎ先で、西先生とは義理の親子にあたられます。どうぞ楽しみにご参詣ください。



秋季彼岸会

9月23日から
25日まで

*23日が彼岸の中日

おけいこコーナー

書道教室

毎週火曜日 13:30~17:00
(お寺行事と重なるときは休みの場合あり)
先生:古村 青霞先生
(題字ほうりん、妙善寺マッチ、うちわなど作成)

お月謝:2,000円 所属:西日本新聞書道会



高机と椅子になり、どなたでもご参加しやすくなりました。
無料体験・見学は随時歓迎です。
夏の日、お子様、お孫様とご一緒に来られませんか?
夏休みの課題をやっつけましょう!

ヨガ教室

月二回不定期開催
(先生のご都合に合わせます)
時間:9:30~10:30

会費:一回500円



先生:松隈美穂先生

若坊守や婦人会の皆様を中心にご参加されています。老若男女、どなたさまでも、ご参加できます。ご参加ご希望の方はお寺までお尋ねください。

妙善寺より皆様へのお知らせ

現在、若院ひとりでご門徒さま宅のお参りをさせていただいております。特に土日祝日にはご法事等がたて込み、ご希望に添えず、皆様にはご迷惑をおかけいたしております。そのような状況でございますので、申し訳ございませんが、若院ひとりでもお参りできるように土日祝日のご法事のお時間を以下のように設定させていただきたいと思っております。ご理解ご協力の程、よろしくお願いたします。

- ①10:00~ ②11:30~
- ③13:00~ ④14:30~

※平日はできる限り皆様のご希望に添える時間で承ります。
※ご法事は通常一時間以内で終了いたします。

妙善寺門徒会館に高机をご準備いたしました。今までは低い机しかございませんでしたので、近年足腰の悪い方も増え、お寺でのご法事後のお齋(お食事)の際に、不自由をおかけいたしておりました。現在は18名が座れる分しかございせんが、今後随時増やしていきたいと考えております。ぜひ、お寺でのご法事もご検討ください。



浄土真宗本願寺派 宝林山 妙善寺

〒841-0051 佐賀県鳥栖市元町1073

TEL:0942-82-2816

FAX:0942-82-9669

メール:sugantosu@vesta.ocn.ne.jp

※寺報へのご意見やお写真のご提供もお待ちしております。